

藤沢市で津波防災に関する市民向けの講演を行いました（2016/11/11）

テーマ：藤沢市，市民向け講演
場所：藤沢市民センター（神奈川県藤沢市）

2016年11月11日(金)に、藤沢市民センター（神奈川県藤沢市）で公益社団法人S.L.災害ボランティアネットワーク S.L.湘南ネットが主催する市民向け講演会「津波研究最前線～東日本大震災の教訓と今後の防災～」が開催されました。当研究所の今村文彦所長が、東日本大震災の経験を踏まえた今後の防災について、最新の研究成果を交えて講演を行い、災害リスク研究部門津波工学研究分野の大石裕介特任准教授（客員）が研究成果のポスター展示を行いました。天候が悪く雨の降る中、熱心な市民の方々に多数ご参加頂き、地震による地殻の隆起沈降のメカニズムについてなど多くのご質問を頂きました。

講演会前には、藤沢市職員の方々やS.L.災害ボランティアネットワークの方々の案内で、藤沢市、鎌倉市、茅ヶ崎市の沿岸部を車で視察しました。江ノ島の津波避難タワー、湘南海岸砂防林、沿岸の住宅密集地、学校（津波避難場所）、海拔表示（電柱、カーブミラー）などを視察しました。藤沢市職員の方々から、浸水想定域内での津波避難場所の確保など、防災対策上の課題について説明を受け意見交換を行いました。



藤沢市沿岸部視察の様子



地元ケーブルテレビ局の取材



講演会の様子



今村所長

文責：今村文彦，大石裕介（災害リスク研究部門）